資料３

主な論点例

①　国際交流事業を通じて育成すべき青年の人材像

・事業開始時と大きく時代環境の変わっている中において、育成すべき青年の人材像と内閣府が行う国際交流の位置づけについて
・それを踏まえた本事業のプログラムや募集・選考方法について

②　新型コロナウイルス感染症等に対応した、より効果的な事業の在り方

・新型コロナウイルス感染症等のリスクを抱える中で、本事業の特長である「密な交流」を維持しつつ、情報通信技術等を活用することにより実現可能な事業の方法について
・事業効果を示すための手法について

③　事業に参加した青年同士のネットワーク強化

・本事業を通じて構築されたネットワークの効果的な活用など、グローバルネットワークを強化するための方策について
・参加青年ネットワークの強化と事業の活性化の好循環を生み出すために考えられる方策について